



1. 患者さんの権利と意思を尊重します。
2. 地域と連携し、適切ながん医療を提供します。
3. 教育と研修を充実し、優れた医療人を育成します。

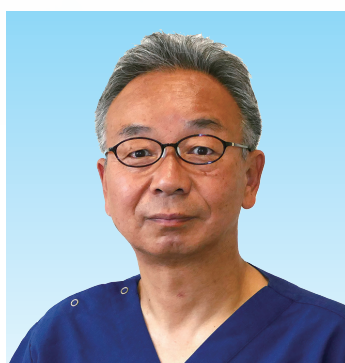
群馬県立がんセンターだより

第53号

発行：令和5年7月

発行元：群馬県立がんセンター

GUNMA PREFECTURAL CANCER CENTER NEWS



群馬県立がんセンター院長
柳田 康弘

就任のご挨拶

本年4月より、群馬県立がんセンターの病院長を拝命いたしました柳田康弘と申します。よろしくお願いいたします。

阪神淡路大震災の翌年、1996年（平成8年）より、木村・小井田両恩師のもとで当院にて乳がん診療をはじめました。私の基本的な診療の方向性は、診療の現場を大切にしながら、科学的な見識を臨床に反映させ、正しい方向へ診療を変革することです。そのために、臨床試験を支援する部署の開設や、保険診療が認められたリンパ浮腫外来、遺伝カウンセリング外来の立ち上げ、全国で始まったがんゲノム医療への参画を主導しました。非常に多くを勉強させていただいた27年間です。

実はこの病院を初めて訪れたのは、今から遡ること45年、1979年（昭和54年）3月の日曜日でした。当時、私は男子高の1年生で、同じクラスのK君がこの病院に入院していて、クラスで作ることとなった文集の原稿執筆をお願いするために訪れました。栃木の佐野から電車とバスを乗り継いで、一人で林の中にある病院の夜間・休日受付にたどり着いたことを覚えています。そして、警備のおじさんに用件を話すと、電話でK君のいる病棟に取り次いでくれて、1階のロビーで会うことができました。

寡黙なK君は黙々と練習するタイプのバレーボール部員でしたが、学園祭のクラス運営で激論となった時に、自らの考えをしっかりと持った輩であることを知り、私は一目を置いていました。そのK君が、高校1年の学園祭が終わった後から姿を見せなくなりました。少し経ってから分かったことですが、首のできものを地元の病院で取ってもらったのにすぐに再発し、この病院へ転院したとのことでした。

ロビーで久しぶりに顔を合わせた我々二人は、「どう？」「うん、まあ」と言葉少なでした。私は、文集を作ることになった経緯を説明して原稿用紙を渡し、「うん、書いとくよ」との返事をもらって別れました。彼の原稿は、1週間後くらいにK君のお母さんが届けてくれました。それから、8か月ほどした11月の校内マラソン大会の寒い朝。スタート直前に、友人からK君の訃報を知らされました。私は、「この年齢で亡くなるってどういうことなんだろう？」「K君は何を思っていたんだろう？」と考えながら、13キロを走り続けました。

当院に勤務し始めてから、K君の病名を知る機会がありました。病名は網内系肉腫、今でいう悪性リンパ腫です。その当時の状況を知り、1978年当時には十分な化学療法がなく、1996年でさえも「今なら治ったんじゃないかなあ」という思いに駆られました。

あれから、がんの診療は日々進歩しています。より確実に治す。より少ない副作用で治す。良い時間を長く作る。仕事を続けられる。社会活動に復帰する。このような目標の達成のため、我々は日々努力し診療体制を整えていく所存です。今後ともよろしくお願いいたします。

新任医師 紹介

消化器外科 渡辺 亮



本年4月より群馬県立がんセンターに赴任しました渡辺亮です。平成18年の群馬大学卒です。昨年3月までは群馬大学病院にて勤務し、肝胆膵疾患の外科治療、化学療法、基礎・臨床研究を行って参りました。当院では肝胆膵領域の癌治療において、群馬大学で学んだ経験や知識を活かしていきたいと考えています。太田およびその周辺地域に住む患者様の肝胆膵癌の診療に貢献していきたいと考えています。よろしくお願い致します。

呼吸器内科 遠藤 哲史



2023年4月より呼吸器内科に赴任しました遠藤哲史と申します。旭川医科大学を卒業し、しばらく北海道内で診療に当たっておりました。地域柄、様々な疾患に対応する必要があり、肺がんだけでなく、COPDや気管支喘息、間質性肺炎、感染症などの疾患も幅広く診療してまいりました。これまでの経験を肺がん診療に活かし、さらに専門知識を深めて精進していく所存です。患者さん1人1人の訴えに耳を傾け、寄り添えるような診療を心がけたいと考えております。群馬県での生活は初めてですが、小さい頃に時々来ていたのでおおよその雰囲気や位置関係などは把握しており、とても過ごしやすい所だと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



みなさん、はじめまして。

麻酔科の川端寛と申します。

これまでは群馬県内の総合病院を中心に、手術時の麻酔管理や集中治療の経験を経んで参りました。当院はがん拠点病院ということもあり、がんを中心に多くの手術をしていますので、これまでの経験を必ず活かせると思っております。がんセンターでも引き続き、手術室での麻酔とICUでの術後管理を担当していますので、どうぞよろしくお願いいたします。

伊勢崎市で生まれ育った私にとって、がんセンターで勤務する事は地元群馬への恩返しになると思っています。地域のみなさんが安心して手術に臨めるよう取り組んで参りますので、手術のことで不安があればどうぞお声かけ下さい。



麻酔科
川端 寛

消化器内科の木村浩一郎

です。2023年5月からがんセンターで勤務することとなりました。

生まれが群馬であり、群馬大学卒業後は太田記念病院で勤務しておりました。

3次救急病院で多数の疾患を診ていく中で、とりわけ、がん疾患の難しさを目の当たりにするとともにその治療にやりがいを見出すようになりました。がん疾患に特化したいという思いがあり、この度当院に異動してまいりました。

早期がんの内視鏡治療や進行がんの化学療法を中心に、地域の患者様の力になれるよう誠心誠意働いていきたいと思っております。何卒宜しくお願いいたします。



消化器内科
木村 浩一郎

2023年度4月より、群馬県立がんセンター泌尿器科にて勤務することになりました石崎正徳と申します。

昨年度3月末までは足利赤十字病院泌尿器科にて1年間勤務しておりました。泌尿器科、そしてがんセンターの一員として、技術や知識をアップデートしながら手術や化学療法などを中心に関わらせていただきます。至らない点多々あるかとは思いますが、地域のがん治療に貢献出来るよう尽力してまいります。どうぞよろしくお願い致します。



泌尿器科
石崎 正徳

よろしくお願いいたします。

外来診療のご案内(外来担当医一覧表)

令和5年7月1日現在

区		分	月	火	水	木	金
第一外来	内 科	消 化 器			保 坂 尚 志	保 坂 尚 志	木 村 浩一郎 保 坂 尚 志 (午後新患)
		血 液	村 山 佳予子 血液内科医師(午後新患)	入 沢 寛 之哉 村 田 直 哉	村 山 佳予子 血液内科医師(午後新患)	村 山 佳予子 村 田 直 哉	入 沢 寛 之 血液内科医師(午前新患)
		呼 吸 器	遠 藤 哲 史 呼吸器内科医師 (午後新患)	増 渕 雄	呼吸器内科医師 (午前新患) 第二外来	増 渕 健	
	外 科	消 化 器			尾 嶋 仁 榎 田 泰 明 渡 辺 亮 高 田 考 大 鈴 木 雅 貴	尾 嶋 仁(新患) 榎 田 泰 明 渡 辺 亮 高 田 考 大 鈴 木 雅 貴	尾 嶋 仁 榎 田 泰 明 高 田 考 大 鈴 木 雅 貴
		乳 腺	柳 田 康 弘 藤 澤 知 巳 宮 本 健 志 青 木 麻 由	柳 田 康 弘 藤 澤 知 巳 宮 本 健 志 青 木 麻 由	乳腺科医師 (新患のみ)	乳腺科医師 (新患のみ)	柳 田 康 弘 宮 本 健 志 (遺伝)
		呼 吸 器			田 嶋 公 平 尾 林 海 (午後新患)		田 嶋 公 平 尾 林 海 (午後新患)
		形 成	廣 瀬 太 郎				廣 瀬 太 郎
		骨軟部腫瘍			柳 川 天 志 (午前のみ)	柳 川 天 志	
		(リンパ浮腫)	リンパ治療・指導	リンパ治療・指導	リンパ診断		
		(ストーマ外来)			午前／ストーマ外来	午前／ストーマ外来	午前／ストーマ外来
第二外来	婦 人 科	中 村 和 人 山 下 宗 一 木 暮 圭 子 西 村 俊 夫	中 村 和 人 山 下 宗 一 木 暮 圭 子 西 村 俊 夫		中 村 和 人	中 村 和 人 山 下 宗 一 木 暮 圭 子 西 村 俊 夫	
	歯科口腔外科	名 生 邦 彦	名 生 邦 彦	名 生 邦 彦		名 生 邦 彦	
	頭 頸 科	清 水 祐 理 (午前／新患のみ)			清 水 祐 理	清 水 祐 理	
	麻 酔 科	麻 酔 科 医 師				麻 酔 科 医 師 (午前／術前診察)	
	泌 尿 器 科	清 水 信 明 蓮 見 勝 泌尿器科医師 (午後／新患のみ)	清 水 信 明 村 松 和 道 泌尿器科医師 (午後／新患のみ)		清 水 信 明 蓮 見 勝 村 松 和 道	清 水 信 明 蓮 見 勝	
	精神腫瘍科			村 上 忠			
放射線科	放 射 線	北 本 佳 住(新患) 村 田 真 澄 岡 崎 祥 平	北 本 佳 住 村 田 真 澄 岡 崎 祥 平(新患)	北 本 佳 住 村 田 真 澄 岡 崎 祥 平	北 本 佳 住 村 田 真 澄 岡 崎 祥 平	北 本 佳 住 村 田 真 澄(新患) 岡 崎 祥 平	
腫瘍内科	腫 瘍 内 科		荒 木 和 浩		荒 木 和 浩		

※緩和ケア外来の受診を希望される方は「がん相談支援センター」へお問い合わせください。直通電話:0276-60-0679

診療予約 *初診、再診ともに予約制です。

●初診紹介予約制について

当センターは「完全紹介予約制」です。初めて受診される方はあらかじめ電話で診療日時の予約をしていただき、診療当日は必ず主治医の紹介状（診療情報提供書）をお持ちください。また、再来の方も予約制となっておりますので、事前に予約をおとりください。

●がん検診について

当センターでは、がんの検診（一次検診）は行っておりません。市町村の検診や人間ドックをご利用ください。検診で異常を指摘された方の診療は行っております。

予約専用電話 **0276-38-0762**

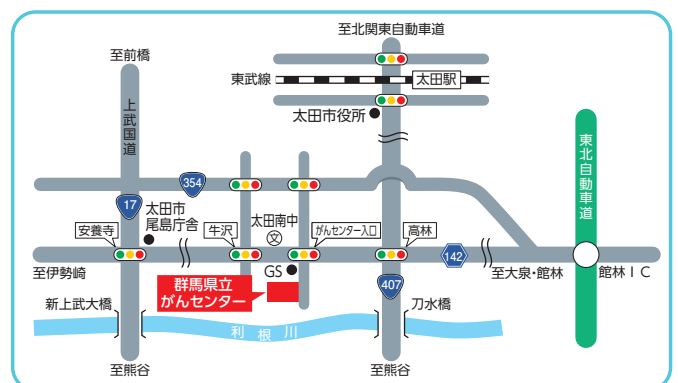
連携室 FAX **0276-60-0615**

電話受付時間/平 日:午前9時~午後5時

土曜日:午前9時~午後1時

※ただし、診療を希望される前日の午後1時までにご連絡してください。

休診日/土・日曜日、祝日、年末年始



群馬県立がんセンター

〒373-8550 群馬県太田市高林西町617-1
TEL.0276-38-0771 (代) FAX.0276-38-0614
URL <https://www.gunma-cc.jp>